

豊岡きょういく

Education in Toyooka vol.63

学校園の子どもの人数（2026.5.1現在）

保育園	12園	546人
認定こども園	15園	1,286人
幼稚園	4園	28人
小学校	20校	3,157人
中学校	8校	1,782人
義務教育学校	1校	205人

7,004人

（保育園・認定こども園は私立園を含む）

2026年6月19日発行 編集/豊岡市教育委員会（TEL 0796-23-1117 FAX 0796-24-4669）<http://www.city.toyooka.lg.jp>

教育長就任のご挨拶

のとたくや
豊岡市教育長 能登 琢也



2026年5月17日付けで教育長を拝命しました能登でございます。

3期9年の長きにわたり豊岡市の教育をけん引された嶋前教育長の後を引き継ぐ立場となり、改めてその重責を痛感しつつ、身の引き締まる思いであります。

人口減少、グローバル化、地球規模課題、生成AIの加速度的進展など、目まぐるしく変わっていく未来は、この先どうなるのか誰にもわかりません。分かっていることは、「変わり続ける時代」であるということです。人生100年時代、子どもたちはこの先のとても長い人生のまだまだ入り口にいます。変化の激しい複雑な未来社会をしなやかにたくましく生き抜いていくために、子どもたちにどんな力をつける必要があるのか、どうやってその力を伸ばすのか、それを追求し続けることが我々大人の使命であると考えています。

豊岡市では、私たちの大先輩である本市出身の教育者、東井義雄先生の教えを大切に、「子どもの事実（子どもの思い方、感じ方、考え方、行動の仕方）に学び、子どもに寄り添う教育」を基本姿勢としてきました。このことは、時代が変わっても、時代を越えて変わらない教育哲学となっています。

また、時代の要請に應えるために、「やり抜く力、自制心、協働性」などの非認知能力を高める取組、小中一貫教育を軸としたふるさと教育、コミュニケーション教育、英語教育等、豊岡独自の教育を展開してきました。

さらに、今後の本市の教育の方向性において大切な視点は、一人一人の子どもが自分らしく生きていけるためのウェルビーイングの向上にあると考えました。時代や環境がどう変化していこうと、自分の居場所があり、自分の良さや持ち味がわかるといったそれぞれの幸福感を持てること、そして自分はどう在りたいか、どんな未来を創っていきたいかという意識を持つ子どもの育成が大切だと考えています。

「教育は人なり」と言われるように、子どもたちにとって最大の教育環境は、子どもたちを取り巻く「人」です。子どもたちが「生きる力」を身につけながら成長していくためには、その「よさと持ち味」をみとり、常に寄り添い、そっと背中を押す教師が必要です。子どもが一番安心できる居場所としての家庭が必要です。そして、声をかけ、温かく包み込む地域の人々の存在が必要です。

学校・園、家庭、地域の皆様方と共に手を組んで知恵を出し合い、「豊岡で育む『在りたい自分』と『在りたい未来』を創造する力」という基本理念のもと、これまでの方針や施策を引き継ぎながら、豊岡市の教育の充実と発展のために力を尽くしてまいります。

皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。